

2023
9



写真①調査の様子

コレクション展Ⅱ《特集》「Welcome! 新収蔵品歓迎会」展関連 こどものイベント

「美術館探偵”新入り”を調査せよ！」

■開催日時：2023年9月23日(日)10:30~12:10

■参加者：こども9名、大人8名

■対象：小学生

■場所：レクチャールーム、常設展示室

■概要

コレクション展Ⅱを調査する美術館探偵になって、調査報告書の5つのミッションに挑戦しました。調査終了後には調べたことを報告しました。

■1 学芸員によるレクチャー

展覧会担当の林学芸員よりコレクション展Ⅱは昨年度美術館にやってきた新収蔵品をお披露目する展覧会であること、それらの”新入り”はまだまだ分からないことが多いので、参加者に美術館探偵になってもらい、調査の手伝いをお願いしたいことを伝えました。そこに、先に展示室に潜入し調査していた相良探偵(学芸員)が調査報告書を手に登場。この報告書を手がかりに、参加者に追加調査を依頼しました。



写真②レクチャーの様子

◇こどもの感想(※原文をそのまま紹介)

- ・前に展示してある作品と関係があっぴょくりしました。(小4)
- ・はじめてだったから、とてもたのしかったし、名探偵がうまれた！と言われてうれしかったです。(小4)

◇保護者の感想

- ・学芸員さんの説明を聞いて、全く想像しなかった見方が知れて興味深かったです！！
- ・新収蔵品がおもしろい作品が多く、なんだこれ!? という感じてたのしかったです！



写真③ 調査の様子

■3 調査②

ミッション3「この彫刻作品を探せ」では、ある彫刻の一部だけが写った画像を手がかりにその彫刻の正体を探ります。どの探偵も見つけることができたようで、作品の正面からだけでなく、後ろや斜めなどいろいろな角度から観察していました。

ミッション4「《M氏の部屋》を探れ」(写真③の作品)では、壁に展示された作品に近づいたり、離れたったり、時には紙のルーペを使って見たりし、調査したことを報告書に記録していました。

最後のミッション5は、「自分が気になる作品を調査せよ!」。今回触れることができる展示(《特集》ではなく同時開催中の《小企画》)もあって、それを選んだ人は、念入りに触って調査していました。

■4 ふりかえり

5つのミッションについて調査したことを参加者に報告してもらいました。ミッション1「お仕事調査」について、「どんな仕事をしていますか?」また「その仕事をしている人はどんな人に見える?」と聞くと、「受付の人はつまらなさそう」「工事現場の人は厳しそう」などの報告がありました。林学芸員が実はこれらの人物はすべて同じ人で、作者の澤田知子さん自身だと教えてくれました。私たちが普段いかに服装によってその人の内面まで判断してしまっているかということ気づかせてくれる作品であると解説しました。

ミッション4「《M氏の部屋》を探れ」について、気づいたことを聞くと、「帽子やマフラーは本物で、他は平面」「離れて見ると椅子に座れそう」などの報告がありました。林学芸員が「M氏はどんな人?何歳くらい?」と聞くと、「男の人」「女の人だと思う」「30~50代くらい」など、様々な推理が飛び出しました。

ミッション2・3・5についても、担当学芸員が「名探偵だね!」と驚くほどの鋭い観察力や推理が光る報告をたくさん聞くことができました。

□展覧会担当からのコメント

以前のこどものイベントでも好評だった「美術館探偵」シリーズですが、参加者のみなさんの観察力と推理には、我々スタッフが驚かされることもしばしば。隅々まで注意深く作品を眺め、緻密な考察を披露してくれた「名探偵」には、舌を巻きました。参加者にいかに「探偵」になりきってもらえるかが、このシリーズのポイントかもしれませんが、スタッフの演出にも力が入り、にぎやかで楽しいイベントとなりました。(林学芸員)

■2 調査①

展示室入ってすぐのところに、さまざまな職業の服を着た人の写真が何枚も展示されています。ミッション1「お仕事調査」は、これらの写真の人がどんな職業なのか、そしてどんな人に見えるかを調査しました。続いて、ミッション2「家族の絵を調査せよ」(写真④の作品)では、小出繪重(こいで ならしげ)が描いた家族の絵を調べます。報告書に載っている絵《Nの家族》とそっくりな《芸術家の家族》という作品を探してもらい、2つを見比べて、似ているところや違うところを探りました。



写真④ ふりかえりの様子